

## 2 各教科のまとめ

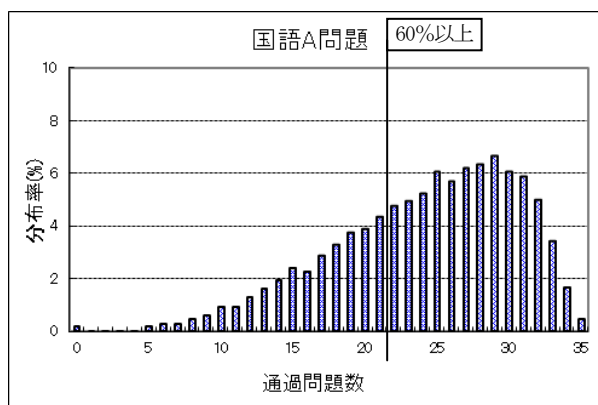
平成 28 年度に明らかになった主な改善・定着の状況と課題及び指導改善のポイントは次のとおりである。

|     | 改善状況と課題 (○:改善・定着, ●:課題)   | 指導改善のポイント   |
|-----|---|---|
| 国語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典の文章(漢文)を読むことについて、文章全体の内容を的確に読み取るとはB問題では改善。</li> <li>● 古典の文章(古文・漢文)を読むことについて、文章全体の内容を的確に読み取るとはA問題では課題。</li> <li>● 古典の文章(漢文)を読むことについて、叙述に即して文章の内容を的確に読み取るとはA問題では課題。</li> <li>● 古典文法における文語文法についての理解はB問題では課題。</li> <li>● 説明的文章を読むことについて、文章の内容を叙述に即して的確に読み取るとはB問題では課題。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 古典の文章を読むことの指導において、既習知識を踏まえ、前後の関係や指示する内容などをとらえながら、書き手の意図や文章全体の主題を考えさせること。</li> <li>◆ 古典の文章を読むことの指導において、文語文法や句法についての知識をもとに、前後の関係をとりえながら、読み取らせること。</li> <li>◆ 説明的文章を読むことの指導において、語句の用いられ方について理解を深めさせながら、文章の内容を読み取らせること。</li> </ul>                   |
| 数学  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三角比の定義の理解と公式の定着において、三角比を活用して、直角三角形の辺の長さを求めること、三角形の面積を求めることは改善。</li> <li>● 二次関数の値域を求めることに課題。</li> <li>● 二次関数の式とグラフの関係を考察することに課題。</li> <li>● 三角比の定義の理解と公式の定着において、三角比の値を求めることに課題。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教材の工夫やICT等の活用を通して、グラフを視覚的に実感させたり、既習事項と関連付けたりして深い理解を促すこと。</li> <li>◆ グラフから読み取れることや関数の式における係数の意味について、類推させたりまとめさせたりして、それらの関係について考察させること。</li> <li>◆ 既習事項と関連付けながら考察させ、三角比を用いた公式や定理のよさを実感させることで、知識を定着させること。</li> </ul>                                |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対話を聞いて、その概要や要点を把握することは定着。</li> <li>● まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握することに課題。</li> <li>● 伝えたい情報や考えなどを正確に書くことに課題。</li> <li>● 伝えたい情報や考えなどを整理して理由とともに書くことに課題。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 読んだ内容に対する自分の考えなどをグループ内で交流し合うなどして、自分の考えを整理・統合し、表現する学習活動を取り入れること。</li> <li>◆ 学習したり体験したりした内容について、相手に正しく伝わるように正確に英語で表現するために、ペアやグループで英文を読み合い、発表する学習活動を取り入れること。</li> <li>◆ 意見文を読み、その論理構成の特徴に気付かせ、それを踏まえて自分の考えなどを整理してパラグラフ形式で書く学習活動を取り入れること。</li> </ul> |

### 3 各学力調査問題のまとめ（概要）

#### 国語A

| 年度      | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|---------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28     | 68.6      | 35.4                | 72.5                | 3.3                 |
| H27(参考) | 72.6      | 38.2                | 78.2                | 2.5                 |



国語Aの平均通過率は 68.6%，通過率 60%以上の生徒の割合は 72.5%であり，通過問題数の分布状況を示すグラフの全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから，基礎的・基本的な学習内容は全体として定着している。

課題のある領域

指導の改善

#### 【読むこと】

- 古典の文章を読むことについて，文章全体の内容を的確に読み取ることに課題。（漢文）

<53.4%/5四>  
[p. 26]



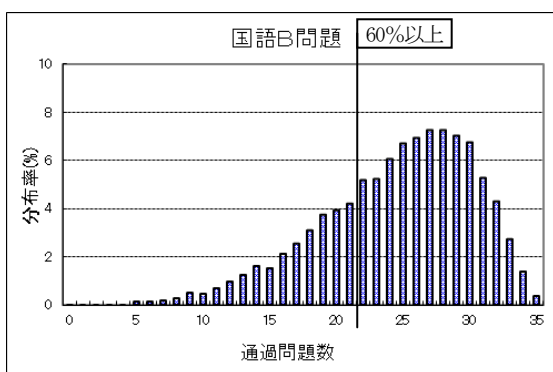
- 古典の文章を読むことの指導において，文語文法や句法についての知識をもとに，前後の関係を捉えながら，読み取らせることが必要。

[p. 59]

【 】は領域等，< >は通過率等

**国語 B**

| 年度      | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|---------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28     | 69.9      | 35.0                | 76.5                | 2.0                 |
| H27(参考) | 70.9      | 31.6                | 75.4                | 1.8                 |



国語Bの平均通過率は 69.9%、通過率 60%以上の生徒の割合は 76.5%であり、通過問題数の分布状況を示すグラフの全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着している。

課題のある領域

指導の改善

**【読むこと】**

- 説明的文章を読むことについて、文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることに課題。

<59.8% / 3三>  
[p. 34]



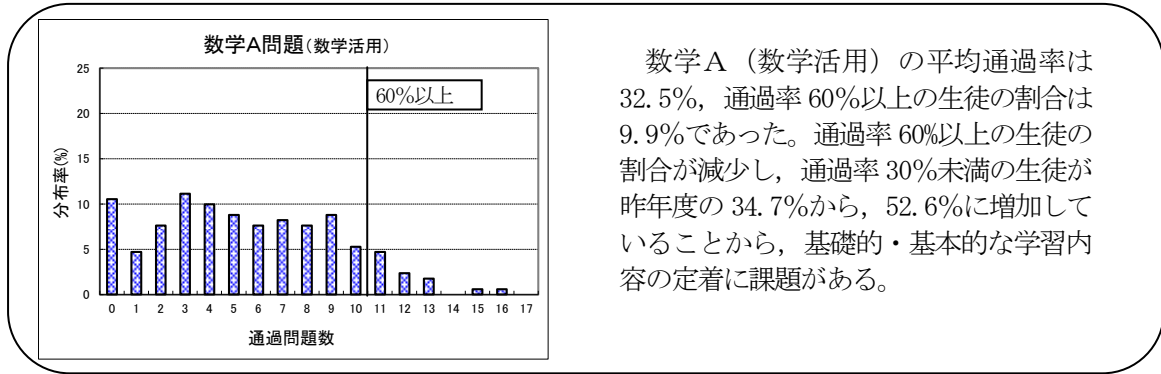
- 説明的文章を読むことの指導において、語句の用いられ方について理解を深めさせながら、文章の内容を読み取らせることが必要。

[p. 61]

【 】は領域等、< >は通過率等

## 数学A 【数学活用】

| 年度      | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|---------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28     | 32.5      | 1.2                 | 9.9                 | 52.6                |
| H27(参考) | 37.2      | 3.5                 | 15.9                | 34.7                |



数学A（数学活用）の平均通過率は32.5%、通過率60%以上の生徒の割合は9.9%であった。通過率60%以上の生徒の割合が減少し、通過率30%未満の生徒が昨年度の34.7%から、52.6%に増加していることから、基礎的・基本的な学習内容の定着に課題がある。

### 課題のある領域

- 次の領域について、基礎的・基本的な学習内容の理解が不十分。

#### 数学A

【中学校 関数】 <19.9%>

※中学校 関数の問題における通過率の平均

【中学校 資料の活用】 <20.2%>

※中学校 資料の活用における通過率の平均

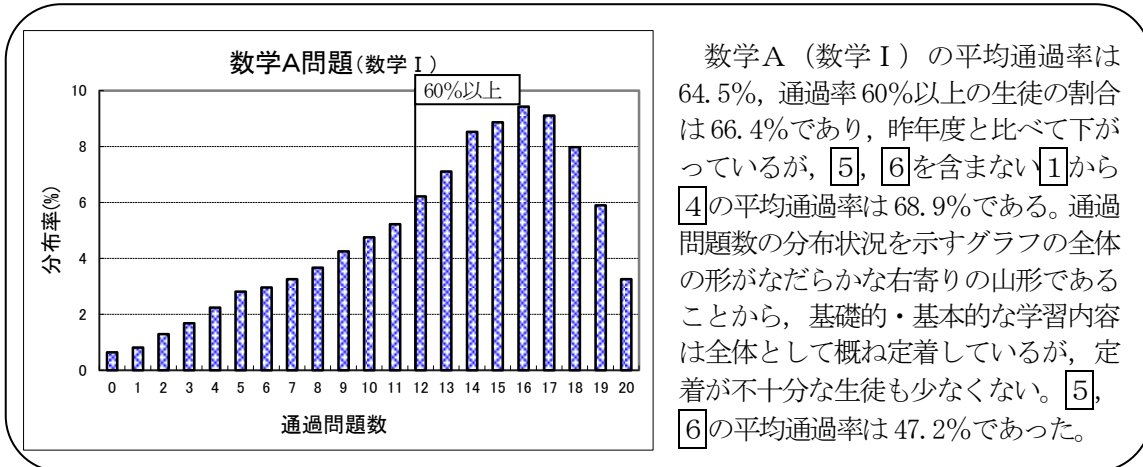
### 指導の改善

- 日常生活や社会生活における事象を題材に用いて、生徒の関心や意欲を高める必要がある。
- 課題のある領域に関して土台となる知識を定着させた上で、生徒同士の教え合いや議論をする場を設け、既存の知識をつなぎ合わせて、新たな知識を発見させ、深い理解を促す必要がある。

【 】は領域等, < >は通過率等

## 数学A【数学I】

| 年度       | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|----------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28      | 64.5      | 35.7                | 66.4                | 9.5                 |
| H27 (参考) | 66.3      | 40.1                | 68.3                | 8.7                 |



課題のある領域

指導の改善

【中学校 関数】  
○ 二次関数の値域を求めることに課題。  
<48.3%/【3】(2)>  
[p42]

○ 教材の工夫やICT等の活用を通して、グラフを視覚的に実感させたり、既習事項と関連付けたりして深い理解を促すことが必要。  
[p64]

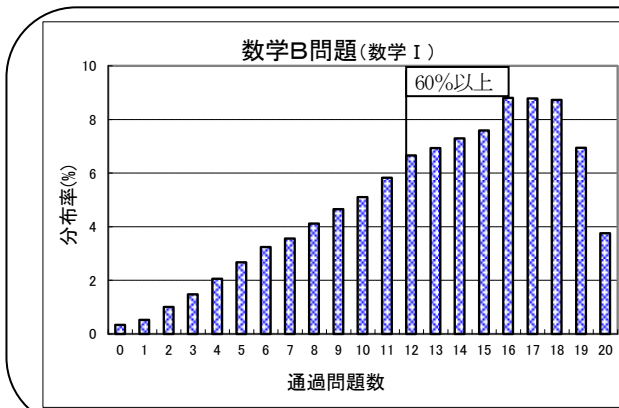
【数学I 二次関数】  
○ 二次関数の式とグラフの関係を考察することに課題。  
<32.7%/【4】(4)>  
[p43]

○ グラフから読み取れることや関数の式における係数の意味について、類推させたりまとめさせたりして、それらの関係について考察させることが必要。  
[p65]

【 】は領域等, < >は通過率等

## 数学 B【数学 I】

| 年度       | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|----------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28      | 65.1      | 37.0                | 65.5                | 8.0                 |
| H27 (参考) | 66.8      | 40.0                | 65.4                | 6.7                 |



数学B (数学 I) の平均通過率は 65.1%, 通過率 60%以上の生徒の割合は 65.5%であり昨年度よりやや増加したが、通過率 30%未満の生徒の割合も昨年度より増加している。通過問題数の分布状況を示すグラフの全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として概ね定着しているが、定着が不十分な生徒も少なくない。

課題のある領域

指導の改善

### 【数学 I 二次関数】

- 二次関数の式とグラフの関係を考察することに課題。

<34.4%/3 (2) > [p 43]

<61.1%/3 (3) > [p 46]

- グラフから読み取れることや関数の式における係数の意味について、類推させたりまとめさせたりして、それらの関係について考察させることが必要。

[p 65]

### 【数学 I 図形と計量】

- 三角比の定義の理解と公式の定着において、三角比の値を求めることに課題。

<47.3%/4 (3) >

[p 49]

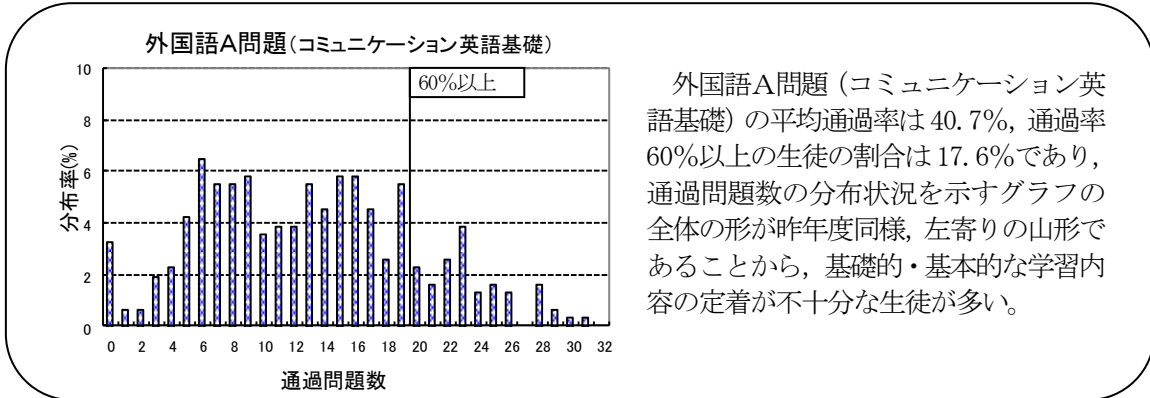
- 既習事項と関連付けながら考察させ、三角比を用いた公式や定理のよさを実感させることで、知識を定着させることが必要。

[p 66, 67]

【 】は領域等, < >は通過率等

外国語A【コミュニケーション英語基礎】

| 年度       | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|----------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28      | 40.7      | 4.2                 | 17.6                | 36.5                |
| H27 (参考) | 38.5      | 4.6                 | 16.7                | 37.5                |



課題のある領域

指導の改善

**【読むこと】**  
 ○ まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握することに課題。  
 <20.8%/7 (2)>  
 [p. 56]

○ 読んだ内容に対する自分の考えなどをグループ内で交流し合うなどして、自分の考えを整理・統合し、表現する学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 67, 68]

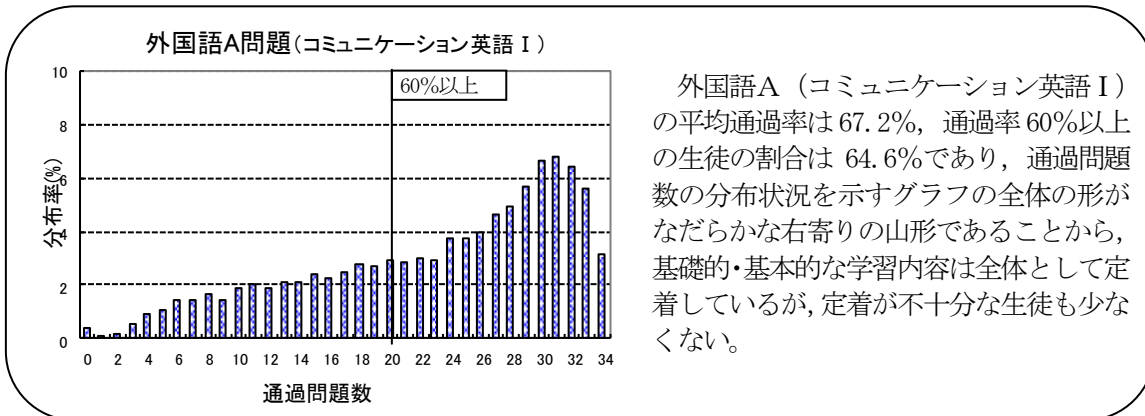
**【書くこと】**  
 ○ 伝えたい情報や考えなどを整理して理由とともに書くことに課題。  
 <8.1%/10 (2)>  
 [p. 91]

○ 意見文を読み、その論理構成の特徴に気付け、それを踏まえて自分の考えなどを整理してパラグラフ形式で書く学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 71]

【 】は領域等、< >は通過率等

外国語A 【コミュニケーション英語I】

| 年度       | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|----------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28      | 67.2      | 39.4                | 64.6                | 11.3                |
| H27 (参考) | 67.0      | 39.0                | 64.7                | 11.4                |



課題のある領域

指導の改善

**【読むこと】**  
 ○ まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握することに課題。  
 <58.7% / 4 (2) >  
 [p. 56]

○ 読んだ内容に対する自分の考えなどをグループ内で交流し合うなどして、自分の考えを整理・統合し、表現する学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 67, 68]

**【書くこと】**  
 ○ 伝えたい情報や考えなどを正確に書くことに課題。  
 <64.0% / 10 (3) >  
 [p. 91]  
 ○ 伝えたい情報や考えなどを整理して理由とともに書くことに課題。  
 <40.3% / 10 (3) >  
 [p. 91]

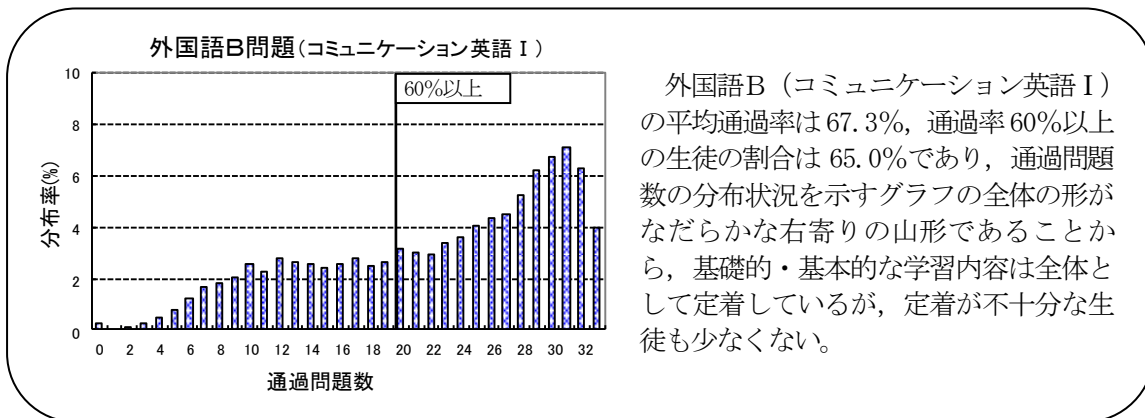
○ 学習したり体験したりした内容について、相手に正しく伝わるように正確に英語で表現するために、ペアやグループで英文を読み合い、発表する学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 70]  
 ○ 意見文を読み、その論理構成の特徴に気付かせ、それを踏まえて自分の考えなどを整理してパラグラフ形式で書く学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 71]

【 】は領域等、< >は通過率等



外国語 B 【コミュニケーション英語 I】

| 年度       | 平均通過率 (%) | 通過率 80%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 60%以上の生徒の割合 (%) | 通過率 30%未満の生徒の割合 (%) |
|----------|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| H28      | 67.3      | 40.2                | 65.0                | 8.9                 |
| H27 (参考) | 64.3      | 33.9                | 60.6                | 9.8                 |



課題のある領域

指導の改善

**【読むこと】**

- まとまりのある英文を読んで, その概要や要点を把握することに課題。  
 $<37.7\% / \boxed{4} (1) >$   
 [p. 56]

- 読んだ内容に対する自分の考えなどをグループ内で交流し合うなどして, 自分の考えを整理・統合し, 表現する学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 68, 69]

**【書くこと】**

- 伝えたい情報や考えなどを正確に書くことに課題。  
 $<62.0\% / \boxed{10} (3) >$   
 [p. 91]
- 伝えたい情報や考えなどを整理して理由とともに書くことに課題。  
 $<38.7\% / \boxed{10} (3) >$   
 [p. 91]

- 学習したり体験したりした内容について, 相手に正しく伝わるように正確に英語で表現するために, ペアやグループで英文を読み合い, 発表する学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 70]
- 意見文を読み, その論理構成の特徴に気付け, それを踏まえて自分の考えなどを整理してパラグラフ形式で書く学習活動を取り入れることが必要。  
 [p. 71]

【 】は領域等, < >は通過率等

#### 4 前年度からの通過率の変化

(1) 平成28年度B問題で、平成27年度A問題と内容が同一又はほぼ同一であった問題の通過率の変化  
(概ね、平成27年度の第1学年生徒が平成28年度になって受験した結果を表す)

##### 【国語総合】

いずれの問題についても通過率が上昇しており、定着が進んでいる。

| 内 容<br>〔平成28年度B問題番号〕 | 変 化 (%) | 平成27年度 | 平成28年度 | 種 類 |
|----------------------|---------|--------|--------|-----|
| 常用漢字の読み 〔1-②〕        | ➡ 1.0   | 79.5%  | 80.5%  | 同一  |
| 常用漢字の書き 〔1二③〕        | ➡ 1.4   | 75.7%  | 77.1%  | 同一  |
| 多義語の意味 〔1六〕          | ➡ 2.0   | 76.7%  | 78.7%  | 同一  |

##### 【数学Ⅰ】

数と式、二次関数を内容とする2問について、通過率が低下しており課題である。

| 内 容         | 変 化 (%) | 平成27年度 | 平成28年度 | 種 類  |
|-------------|---------|--------|--------|------|
| 数と式 〔2(1)〕  | ➡ 3.3   | 74.4%  | 77.7%  | 同一   |
| 数と式 〔2(4)〕  | ↘ -6.1  | 74.6%  | 68.5%  | ほぼ同一 |
| 二次関数 〔1(5)〕 | ↘ -1.7  | 70.8%  | 69.1%  | ほぼ同一 |

##### 【コミュニケーション英語Ⅰ】

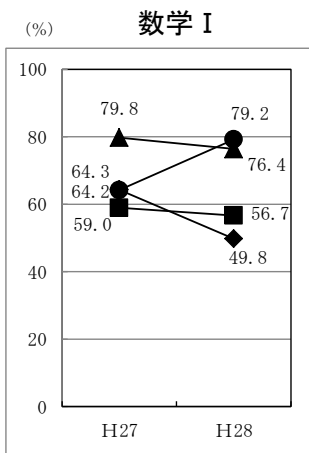
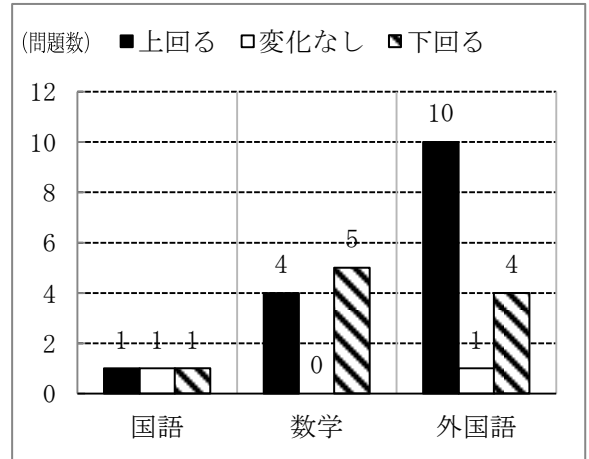
リスニングを内容とする2問と場面に適した正しい英語の表現については、通過率が低下したが、概ね定着が進んでいる。

| 内 容                              | 変 化 (%) | 平成27年度 | 平成28年度 | 種 類  |
|----------------------------------|---------|--------|--------|------|
| リスニング (相手の意図を理解し応答) 〔1(1)〕       | ↘ -5.9  | 67.0%  | 61.1%  | ほぼ同一 |
| リスニング (相手の意図を理解し応答) 〔1(2)〕       | ➡ 20.1  | 63.3%  | 83.4%  | ほぼ同一 |
| リスニング (相手の意図を理解し応答) 〔1(3)〕       | ➡ 6.9   | 75.4%  | 82.3%  | ほぼ同一 |
| リスニング (相手の意図を理解し応答) 〔1(4)〕       | ➡ 3.9   | 81.1%  | 85.0%  | ほぼ同一 |
| リスニング (対話の概要や要点の把握) 〔1(5)〕       | ➡ 6.4   | 72.1%  | 78.5%  | ほぼ同一 |
| リスニング (文章の概要や要点の把握) 〔1(9)〕       | ➡ 7.0   | 83.5%  | 90.5%  | ほぼ同一 |
| リスニング (文章の概要や要点の把握) 〔1(10)〕      | ↘ -8.4  | 72.5%  | 64.1%  | ほぼ同一 |
| 場面や状況による強勢やイントネーションの違いの理解 〔2(1)〕 | ➡ 5.9   | 68.4%  | 74.3%  | 同一   |
| 場面に適した正しい英語の表現 〔8(1)〕            | ➡ -2.4  | 79.8%  | 77.4%  | 同一   |

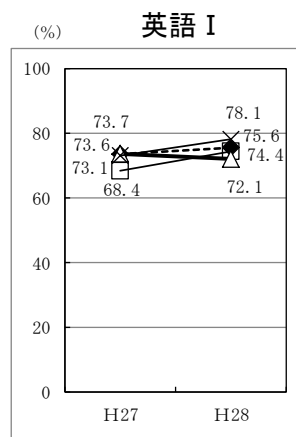
(2) 平成 28 年度の問題で、平成 27 年度の問題と内容が同一又はほぼ同一であった問題の通過率の変化

① A問題 (平成 28 年度の第 1 学年と平成 27 年度の第 1 学年との比較を表す)

- ・ 国語総合の漢字の読むことに関する同一の問題の通過率は上昇。国語の慣用句に関する同一の問題の通過率が低下。
- ・ 数学 I の二次関数の通過率は上昇。中学校の範囲における関数に関するほぼ同一の問題の通過率はやや低下。三平方の定理に関する問題と数と式に関するほぼ同一の問題 4 問の平均通過率は低下。
- ・ 英語 I のリスニングに関する同一及びほぼ同一の問題はやや上昇。読むことに関するほぼ同一の問題 2 問の平均通過率はやや低下。話すこと及び書くことに関するほぼ同一の問題の通過率はやや上昇。書くことに関する同一及びほぼ同一の問題の平均通過率は上昇。



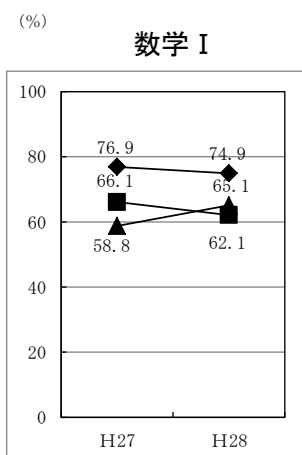
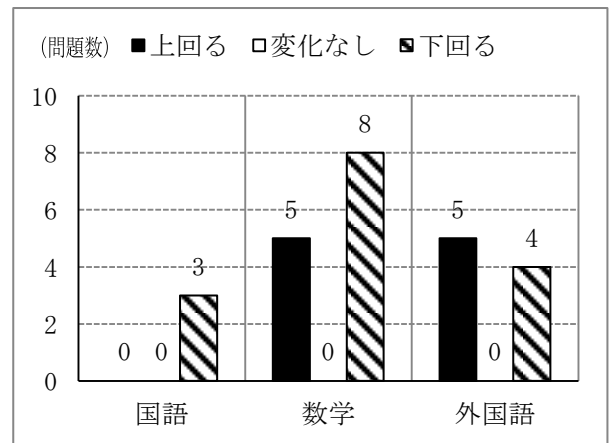
- ① (1, 2) ④ (1, 2) 数と式に関する問題の平均通過率
- ② (4) 三平方の定理に関する問題の平均通過率
- ③ (1, 2,) 中学校の範囲における関数に関する問題の平均通過率
- ④ (5) 二次関数に関する問題の平均通過率



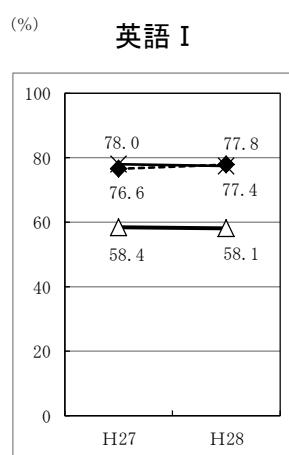
- ① (1, 2, 3, 4, 5, 9, 10) リスニング問題の平均通過率
- ② (1) 話すことに関する問題の平均通過率
- ③ (2), ④ (3) 読むことに関する問題の平均通過率
- ⑦ (2), ⑧ (1, 3), ⑨ (1, 2) 書くことに関する問題の平均通過率

② B問題 (平成 28 年度の第 2 学年と平成 27 年度の第 2 学年との比較を表す)

- ・ 国語総合の言語事項に関する同一の問題の通過率がやや低下。
- ・ 数学 I の数と式、二次関数に関する同一及びほぼ同一の問題の平均通過率は低下。図形と計量に関するほぼ同一の問題 4 問の平均通過率は上昇。
- ・ 英語 I のリスニングに関する同一及びほぼ同一の問題の平均通過率はやや上昇。読むこと、書くことに関する同一及びほぼ同一の問題の平均通過率はやや低下。



- ② (1, 2, 3, 4) 数と式に関する問題の平均通過率
- ③ (1, 3) 二次関数に関する問題の平均通過率
- ④ (1, 2, 3, 4) 図形と計量に関する問題の平均通過率



- ① (1, 2, 3, 4, 5, 9, 10) リスニング問題の平均通過率
- ⑤ (2) 読むことに関する問題の平均通過率
- ⑧ (1) 書くことに関する問題の平均通過率